



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 前澤化成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7925 URL <https://www.maezawa-k.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 田中 理
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 大庭 広紀 TEL 03-6264-9911
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,121	8.1	562	47.2	686	39.0	510	43.2
2025年3月期第1四半期	5,664	△1.9	382	13.6	493	15.5	356	25.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 700百万円 (△10.6%) 2025年3月期第1四半期 782百万円 (3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	34.41	—
2025年3月期第1四半期	24.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	49,909	41,630	83.2
2025年3月期	49,901	41,513	83.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 41,525百万円 2025年3月期 41,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	39.00	69.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,540	7.9	1,100	8.7	1,270	7.8	870	4.5	58.62
通期	25,000	3.5	2,200	1.6	2,530	0.9	1,730	0.9	116.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	15,732,000株	2025年3月期	15,732,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	892,755株	2025年3月期	892,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	14,839,245株	2025年3月期1Q	14,839,327株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料やエネルギー価格の高止まり、円安の継続といった外部環境の影響は受けつつも、訪日外国人による旺盛なインバウンド需要などに支えられ、緩やかな回復基調が続いております。一方、インフレの進行に伴う実質賃金の伸び悩みが続いている中、消費者の節約志向・生活防衛意識が一層高まっていることにくわえ、中東情勢の地政学リスク、米国の関税政策が及ぼす影響などについても注視する必要があります。国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界につきましては、政府による住宅取得支援策や低金利の継続が住宅購入層の需要を一定程度下支えしている状況にはありますが、住宅価格の高騰や日銀による政策金利のさらなる引き上げへの警戒感から、住宅購入層の意欲の減退が顕著となっており、当社業績との関連性が大きい戸建住宅の新設住宅着工戸数は、引き続き減少して推移するなど、厳しい経営環境にあります。

こうした経営環境等を踏まえ、当社グループは2024年5月14日に2024年度から2026年度までの3か年を対象とした中期経営計画「SHIFT 2026」を公表いたしました。当中期経営計画については、Look Forward 2023からの継続課題を含め、当社の経営課題に向き合いつつ、今後確かな成長軌道を描いていくための「成長基盤の確立期」と位置付けており、その達成に向けた4つの基本方針「グループ収益力の強化/新たな企業価値の創出」「収益基盤の強化」「戦略的成長投資の実行と資本効率の向上」「サステナビリティ経営の推進」とこれらを実現するための重点戦略を掲げており、基本方針に基づいた重点戦略を着実に実行することで、持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、建築基準法改正に伴う省エネ基準への適合義務化などへの影響から、戸建住宅の新設住宅着工戸数が大きく前年割れする厳しい環境下ではありましたが、2024年9月に実施した価格改定の効果が継続していることや、中期経営計画「SHIFT 2026」において、成長セグメントとして位置付けている水・環境エンジニアリングセグメントの工事進捗が順調に推移したことなどから、前期を上回る結果となりました。

この結果、売上高は61億21百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益5億62百万円（同47.2%増）、経常利益6億86百万円（同39.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億10百万円（同43.2%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

①管工機材

管工機材セグメントにつきましては、戸建住宅の新設住宅着工戸数が低調に推移する中、重点販売製品として位置付けているビル設備分野、エクステリア分野、災害分野の各製品の販売強化と主力製品群の売上確保に努めてまいりました。重点販売製品については、デベロッパーやハウスメーカーを中心に積極的な営業活動を展開した他、大規模な総合展示場への出展などを通して、新たな需要の掘り起こしに注力したことで、引き続き堅調に推移しました。また、主力製品群においても、一部の原材料価格、物流費上昇といった影響は受けたものの、前期に実施した価格改定効果の継続や利益率の高い製品群の販売を戦略的に実行したことによって、業績は前期を上回る結果となりました。

以上により、売上高は53億90百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益5億9百万円（同35.3%増）となりました。

②水・環境エンジニアリング

水・環境エンジニアリングセグメントにつきましては、お客様の水処理における「業務の効率化」と「環境保護」を目的とした多様な水処理システムの提案・施工を行うとともに、給排水衛生設備・農業用灌漑排水のポンププラントなど、民需・官需における各種工事の受注活動・施工を行ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間については、前期に受注した民需の大型工事の工事進捗が予定どおりに進捗したことに伴い前期を上回る結果となった他、受注案件の形成も順調に進んでおります。

以上により、売上高は5億8百万円（前年同期比154.6%増）、セグメント利益52百万円（前年同期は4百万円のセグメント損失）となりました。

③各種プラスチック成形

各種プラスチック成形セグメントにつきましては、引き続き収益性を重視した経営の推進を図りながら、新たな収益源を創出すべく自社ブランド製品の開発・販売にも注力してまいりました。受注の減少が続く厳しい経営環境の中、生産効率の向上・固定費の削減などに常時取り組み、収益力の強化に努めてまいりましたが、売上の減少・外注費の増加の影響が響き、業績は前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は2億54百万円（前年同期比14.3%減）、セグメント利益2百万円（同84.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ7百万円増加し、499億9百万円となりました。これは主として、剰余金の配当等により現金及び預金が1億63百万円減少した一方で、株価上昇に伴い投資有価証券が3億78百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億9百万円減少し、82億78百万円となりました。これは主として、法人税等の納付により未払法人税等が2億12百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億17百万円増加し、416億30百万円となりました。これは主として、投資有価証券の株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が1億93百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,905	12,742
受取手形、売掛金及び契約資産	4,868	4,418
電子記録債権	4,691	4,684
有価証券	1,300	1,300
商品及び製品	2,334	2,496
仕掛品	784	877
原材料及び貯蔵品	887	901
その他	635	795
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	28,409	28,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,360	13,366
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,716	△8,797
建物及び構築物(純額)	4,643	4,569
機械装置及び運搬具	12,136	12,158
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,251	△11,306
機械装置及び運搬具(純額)	884	852
工具、器具及び備品	17,774	17,847
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,517	△17,570
工具、器具及び備品(純額)	257	277
その他	240	240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△167	△172
その他(純額)	73	68
土地	4,357	4,357
建設仮勘定	411	364
有形固定資産合計	10,628	10,490
無形固定資産		
のれん	117	113
ソフトウェア	321	341
その他	87	37
無形固定資産合計	527	492
投資その他の資産		
投資有価証券	9,629	10,008
繰延税金資産	17	18
退職給付に係る資産	237	236
その他	600	596
貸倒引当金	△148	△148
投資その他の資産合計	10,336	10,711
固定資産合計	21,492	21,693
資産合計	49,901	49,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,865	1,872
電子記録債務	1,672	1,839
短期借入金	330	330
未払法人税等	523	311
賞与引当金	439	249
役員賞与引当金	38	11
その他	2,009	2,138
流動負債合計	6,879	6,753
固定負債		
繰延税金負債	1,046	1,064
役員株式給付引当金	71	76
資産除去債務	229	230
その他	161	153
固定負債合計	1,509	1,525
負債合計	8,388	8,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,368	6,368
利益剰余金	29,434	29,362
自己株式	△1,014	△1,014
株主資本合計	38,175	38,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,962	3,156
退職給付に係る調整累計額	270	265
その他の包括利益累計額合計	3,232	3,421
非支配株主持分	105	105
純資産合計	41,513	41,630
負債純資産合計	49,901	49,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,664	6,121
売上原価	3,629	3,886
売上総利益	2,035	2,235
販売費及び一般管理費	1,653	1,673
営業利益	382	562
営業外収益		
受取利息	3	12
受取配当金	61	79
受取賃貸料	22	23
その他	27	15
営業外収益合計	115	130
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	0	0
賃貸費用	2	2
為替差損	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	4	6
経常利益	493	686
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	40	52
特別利益合計	40	52
特別損失		
固定資産除却損	0	1
リース解約損	0	0
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	533	737
法人税、住民税及び事業税	235	293
法人税等調整額	△59	△66
法人税等合計	176	226
四半期純利益	357	510
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	510

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	357	510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	193
退職給付に係る調整額	△2	△4
その他の包括利益合計	425	189
四半期包括利益	782	700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	782	699
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	5,207	112	258	5,577	—	5,577
一定の期間にわたり移転される財	—	87	—	87	—	87
顧客との契約から生じる収益	5,207	199	258	5,664	—	5,664
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,207	199	258	5,664	—	5,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	38	41	△41	—
計	5,209	199	296	5,706	△41	5,664
セグメント利益又は損失(△)	376	△4	13	385	△3	382

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	5,386	214	226	5,827	—	5,827
一定の期間にわたり移転される財	—	294	—	294	—	294
顧客との契約から生じる収益	5,386	508	226	6,121	—	6,121
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,386	508	226	6,121	—	6,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	28	31	△31	—
計	5,390	508	254	6,153	△31	6,121
セグメント利益	509	52	2	563	△1	562

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	239百万円	245百万円
のれんの償却額	3	3